



# 御田小 研究だより

平成29年11月 2日  
港区立御田小学校  
校長 三浦 和志

## 第3回研究授業報告

10月19日(木) 3校時 5年2組  
授業者 吉田 優美 高田 悠平

10月23日(月) 5校時 5年1組  
授業者 三山 明子 高田 悠平

<算数> 単元名「きまりを見つけて」

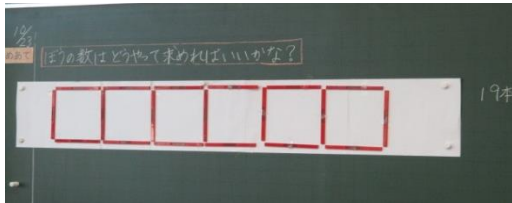
<単元でねらっていること>

○変化する2つの数量の関係を表や式に表すことを通して、数量関係や規則性を見つける能力を伸ばす。

<本時のねらい>

○伴って変わる2つの数量について、きまりを見出すことで問題を解決し、説明することができる。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



「どのように棒の数を求めればよいか」というめあてに絞り、同じめあてに向かって学習できるようにしました。(焦点化)

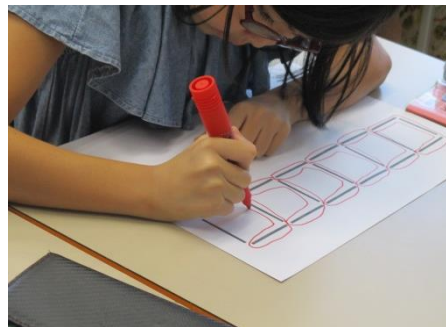
トリオ(3人組)で自分の考えを発表し合うことで、友達の考えと比べたり、自分の考えを深めたりすることができました。(焦点化・共有化)



発表シートの表面には図で表し、裏面には「まず～。次に～。だから式は～」と説明文を書き込むことで、自分の考えが説明しやすくなりました。(視覚化)



実際に棒を操作することで、問題の構造を理解することができました。(視覚化)



【授業を終えて】

今回は、習熟度別ではなく、クラス全員で「変化する2つの数量の関係についてきまりを見つける」という学習に取り組みました。自分で考えた方法を発表し合いながら、自分の考えと友達の考えを比べ分類していききました。いろいろな求め方があることに気付きました。次の時間には、その発表シートを活用して「数が大きくなっても使えるきまりはどれか」を考えることができました。

今後も、お互いの考えを深められるような活動を工夫し、指導していきます。